

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

地域資源を企業と連携し活用した新たな産業振興プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道雨竜郡北竜町

3 地域再生計画の区域

北海道雨竜郡北竜町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

(地勢)

北竜町は、北海道のやや中央にあり、空知総合振興局管内の北西部に位置し、広さは158.82km²であり、70%が山林となっている。

国道275号線が南北に、国道233号線と道道94号線が東西に貫通し、車で札幌市まで2時間、旭川市まで1時間となっている。

(人口)

明治26年5月に開拓団の入植により源を発し、昭和35年の6,468人をピークに過疎化が始まり、今では1,941人とピーク時の30%まで減少し、高齢者人口も43.5%(849人)を占めている。

(産業)

稲作を主体とする農業の町として発展し、「国民の命と健康を守る安全な食糧生産のまち」を宣言し、「ひまわりライス」により日本で唯一生産情報公表JASを取得し、この事が認められ「第46回日本農業賞大賞」を受賞し、安全・安心・高収量・高品質の米の産地を形成しているほか、メロンやすいか、花卉などの農産物を3,161haの耕作面積の中で184戸の農家において生産されている。

観光では、昭和55年より「ひまわり」によるまちづくりに取り組み、加工場を整備し、昭和63年にはひまわりの一大観光地である「ひまわりの里」を造成し、また平成3年にはサンフラワーパーク北竜温泉を整備し、年間45万人を超える観光客が訪れる。

4-2 地方創生の実現における構造的な課題

北竜町における主な雇用の場は、基幹産業の農業である。日本で唯一の特色のある米づくりを行っているが、就業者数は減少し、高齢化が進んでいる。商工業においても、平成15年にひまわり加工場が閉鎖したことで、ひまわり関連商品が激減し、地域の観光経済力が衰退しましたが、新たな起業・創業は生まれていない状況にあり、北竜町内での就職の場が無く、そのため学生は、通学により町外へ転出した後、卒業後にUターンしたくても受け皿が無く、転出超過となっている。また、様々な移住・定住施策として結婚・出産・育児・教育・居住の支援を行っていますが、雇用の場が無く、受け入れ環境が整っていない状況にある。

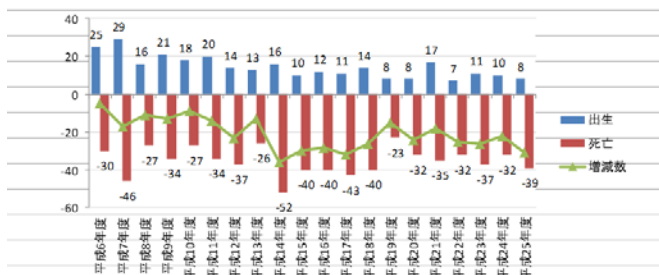
5. 地方創生として目指す将来像

「ひまわりのように明るく 健康長寿のまち 北竜町」を目指すために、転出が転入を上回り（H28 14人）、死亡が出生を上回（H28 12人）る現状を少しでも好転させ、北竜町の人口減少を抑制する必要がある。

そのために、ひまわりによる観光の競争力強化による交流人口の増加を図り、農業及び観光を主軸とした雇用の拡大を促進し、雇用安定化のために婚姻促進と出産・子育てへの支援を行い、買い物環境の整備及び移住・定住促進に向けた住環境の整備を図る必要がある。

(1) 自然動態（出生・死亡）の推移

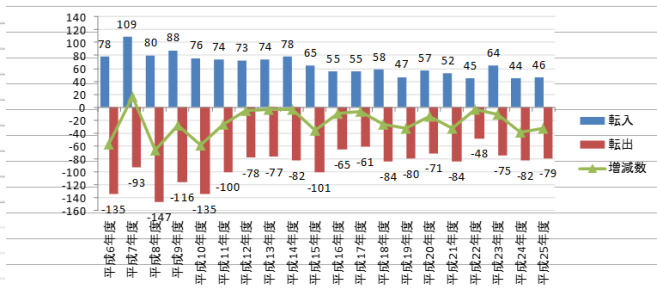
各年度毎の出生と死亡の推移をみると、毎年、出生数を死亡数が上回り、自然減の傾向が続いています。



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年3月31日現在）

(2) 社会動態（転入・転出）の推移

各年度毎の転入と転出の推移をみると、平成7年度に転入が転出を上回りましたが、それ以外の年度は増減数に波はあるものの、転出が転入を上回る状況が続いています。



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年3月31日現在）

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI 増加 分の累計
ひまわり油商品販売粗利益額(千円)	0	5,771	3,769	7,774	17,314
ひまわり原油販売粗利益額(千円)	0	1,812	6,486	2,139	10,437
ひまわりまつり観光客入込数(人)	266,000	2,000	2,000	2,000	6,000

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

北竜町の財産である「ひまわり」・「JAS 認定米」と新たな地域資源を、企業と連携し活かした、「産業と観光の連携」を図るために、技術の開発と確立を行い、確かなものづくりを通して、交流による人づくりを行い、雇用の促進を図る。

合わせて、買い物環境の整備、子育て環境の整備、交流施設整備、移住定住環境整備を行う。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

北海道雨竜郡北竜町

② 事業の名称：

地域資源を企業と連携し活用した新たな産業振興プロジェクト

③ 事業の内容

(1) ひまわり商品企画事業

北竜町の地域資源である「ひまわり」を活用して、地元農産物（黒千石大豆・トマト・ハーブなど）を漬け込んだフレーバーオイルや道内他油糧生産地（パンプキンオイル・グレープシードオイル・米油・菜種油・えごまオイル・亜麻仁オイルなど）と連携したブレンドオイルなどの商品開発検討を企業の知恵と技術を受けながら行い、ひまわり商品のバリエーションを増やし、ひまわり油の価値を高め、収益性の向上により自主運営をおこなう。

(2) ひまわり販売促進事業

町内の青年部・女性部を中心とした委員会を組織し、ひまわり油を使った料理メニュー開発を行い、ホームページでレシピを公表することにより、ひまわり油の利用頻度を上げる。

ひまわり油を使ったお土産品開発を行うと共にビジネスプランを策定し収益性の上がる販売戦略を構築する。

食用油を使った商品を販売している企業と商談を行い、ひまわり油の販路の拡大を図る。

日本最大級を誇る「ひまわりの里」を会場とするひまわりまつりのブラッシュアップを行い、全国から訪れる観光入込客の拡大により「ひまわりのまち 北竜」のブランド力の向上と、ひまわり油の宣伝PR効果を高めることにより販売額を増加する。

(3) 企業職員研修によるひまわり農業体験事業

「ひまわりの里」において、ひまわりの作付・除草・収穫・搾油・調理までの工程を企業職員研修にプログラム化し、コミュニケーションの深下・連帯感の強化・人材育成・メンタルヘルスケア・マネジメント・異業種交流・食育などを目的に年5回の農業体験を実施し、都市企業との交流により北竜町への理解を深め、移住定住・サテライトオフィスの推進を図る。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

ひまわり油関連商品の販売収入及びひまわりまつり収益事業により独自の財源確保に努め、交付金に頼らず事業として自立する。

【官民協働】

日清オイリオグループ(株)と連携した組織体制を構築する。

【政策間連携】

1次産業(北竜町)×2次産業(日清オイリオグループ(株))×3次産業((株)マーケティングフォースジャパン)の各分野の専門家が入り、6次産業化のサプライチェーンを構築し、産業と観光振興の連携を図る。

【地域間連携】

道内の油糧作物生産者・加工業者・販売者・消費者を対象として、機能性オイルに着目した「北海道健康とオイルの集い」を開催し、各分野における現状と課題の報告による共通理解をもとに、道内が一円として連携し、北海道産食用オイル商品の発信力の強化を図る。

【その他の先導性】

人口1,950人足らずの小さな町が、日本最大の油脂企業である日清オイリオグループ(株)との新たなマッチング事業の展開は、全国の過疎化に悩む地域における、地域資源を企業と連携し活用した、新たな産業振興のモデル事業となる取り組みである。

⑤ 重要業績評価指標 (KPI) 及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI 増加 分の累計
ひまわり油商品販売粗利益額(千円)	0	5,771	3,769	7,774	17,314
ひまわり原油販売粗利益額(千円)	0	1,812	6,486	2,139	10,437
ひまわりまつり観光客入込数(人)	266,000	2,000	2,000	2,000	6,000

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度事業実施の翌年4月に、北竜町地方創生協議会を開催し、ひまわり油再生プロジェクトのサプライチェーンの構築状況及びKPI、数値目標を評価検証し、問題点・改善点については、ひまわり油再生協議会へフィードバックし、サプライチェーンの再構築を図る。

【外部組織の参画者】

産 きたそらち農業協同組合、北竜町商工会
学 教育委員、社会福祉協議会、町内会連合会
官 北海道、議会まちづくり等調査特別委員会
労 滝川労働監督署
金 北空知信用金庫
言 北空知新聞

【検証結果の公表の方法】

毎年度、町ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 25,897千円

⑧ **事業実施期間**

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

⑨ **その他必要な事項**

特になし

5-3 **その他の事業**

5-3-1 **地域再生基本方針に基づく支援措置**

該当なし

5-3-2 **支援措置によらない独自の取組**

(1) 商業活性化施設整備事業負担金

事業概要：町内唯一のミニスーパーが撤去することになり、買い物弱者対策・定住対策として施設整備費を支援する。

実施主体：北海道北竜町

事業期間：平成29年度

(2) 北竜温泉大規模改修

事業概要：道の駅であり町内唯一の宿泊温泉施設の老朽化と機能強化により交流人口の拡大を図る為に大規模改修を行う。

実施主体：北海道北竜町

事業期間：平成29年度～平成30年度

(3) 保育所整備事業

事業概要：子供の健全育成として手狭にある保育所を新たに整備し保護者のニーズに合った運営を行い定住対策を図る。

実施主体：北海道北竜町

事業年度：平成29年度～平成31年度

(4) 民間賃貸住宅整備促進補助金

事業概要：空き家を改修し町内の住環境整備を民間の活力を促進して行うための支援を行う。

実施主体：北海道北竜町

事業年度：平成29年度～平成31年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日14

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

北竜町地方創生協議会において、ひまわり油合再生プロジェクトのサプライチェーンの構築状況及びKPI、数値目標を評価検証し、問題点・改善点については、ひまわり油再生協議会へフィードバックし、サプライチェーンの再構築を図る。

【外部組織の参画者】

産 きたそらち農業協同組合、北竜町商工会
学 教育委員、社会福祉協議会、町内会連合会
官 北海道、議会まちづくり等調査特別委員会
労 滝川労働監督署
金 北空知信用金庫
言 北空知新聞

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

毎年度事業実施の翌年度4月に、北竜町地方創生協議会においてKPI、数値目標を評価検証し、問題点・改善点については、事業実施の中で見直しを行う。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI 増加 分の累計
ひまわり油商品販売粗利益額(千円)	0	5,771	3,769	7,774	17,314
ひまわり原油販売粗利益額(千円)	0	1,812	6,486	2,139	10,437
ひまわりまつり観光客入込数(人)	266,000	2,000	2,000	2,000	6,000

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、町ホームページで公表する。